

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらい		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者アンケートで「大好き」「安心感がある」「母にも寄り添ってくれる」と高く評価された通り、利用者および家族との深い信頼関係が最大の強みです。	1日のスケジュールを見える化し、利用者が自ら見通しを持って活動できるよう環境設定を工夫しています。	自立支援協議会への積極的参画や、地域の児童館・学校との直接的な連携を強化し、地域全体で利用者を支える体制を広げます。
2	全員参加型の集団活動や調理実習、お買い物練習など、社会性を育む実践的なプログラムを継続的に実施しています。	保護者会の実施や日々の丁寧な対話を通じ、家庭と事業所が一体となった支援体制を構築しています。	若手スタッフの積極的な雇用と育成、外部研修の活用により、組織全体の支援スキルと専門性を底上げします。
3	利用者の小さなサインを見逃さず、個々の特性に寄り添った専門性の高い支援を全職員で共有し実践しています。	調理実習等を通じ、「ありがとう」「いただきます」といった基本的な挨拶や社会ルールを自然に習得できるよう関わっています。	利用計画やモニタリング結果を保護者により分かりやすく提示し、支援の方向性についてさらに深い理解と同意を得られるよう努めます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「建物が小さい」という物理的な要因から、「身体を動かすスペースが少ない」ことが課題として挙げられます。	屋内のスペース不足を補うため、「公園や屋外での活動」をより計画的に取り入れ、利用者がのびのびと身体を動かせる機会を十分に確保します。	活動内容の公表や自己評価結果の周知をさらに進め、地域に開かれた安心感のある事業所運営を推進します。
2			
3			